



編集委員 津谷 治英

あ・ん

晴明伝説と防犯対策

今昔物語集によると平安時代、陰陽師の安倍晴明は夜道に隊列を組む鬼を見ることができたそうだ。当時、鬼の姿は普通の人には見えないとされていたため、晴明の神秘的な力を示す「**あ**」伝説となった。

晴明ならば今、この「鬼」を察知できるだろうか。首都圏を震え上がらせる連続強盗事件である。

交流サイト（SNS）で実行役を集め、指示役は彼らを脅して凶行に及ぼせる。手口は荒く、高齢者らを縛って金品を奪う。命を落とした人、拉致された人もいる。まさに鬼の所業といつていい。

捜査が難航する中、分かってきた特徴がある。犯行グループが、事前に現場周辺を下見していたことだ。セールスや工事業者を装い高齢者の家庭、侵入しやすい家屋を探った可能性がある。住民から「不審者を見た」との声も寄せられている。

ついに、予防のヒントが隠されて

いないか。人と人の絆が薄くなったとはいえ、近所をうろつく怪しい人物を見かければ何か感じるころがあるかも。住民の証言情報はその一例だろう。そして不審者情報を地域の防犯ネットで共有できれば、有効な防犯策になりえる。

22年前、神戸市西区にテレクラ出店が相次いだとき、子どもたちを守ろうと住民が結束して反対運動を展開、警察や県を動かして撃退した。地域の力は侮れない。今回の防犯対策もSNSで巻き込まれた若者が、犯罪に手を染める前に踏みとどまらせることにつながる。

超人的能力で知られる安倍晴明だが、役職の陰陽師は天文、暦、時間など当時の先端科学知識を持つ技術官僚だった。月の満ち欠けで夜盗の出没しやすい時間を予測するなど簡単なはず。今も昔も、的確な情報が闇に隠れた鬼を浮かび上がらせることができる。晴明は教えている。

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 空欄には、傍線部①を漢字4文字で表現した言葉が入りません。その言葉を書きましょう。

--	--	--	--

2 傍線部②の連続強盗事件の特徴について説明した次の文の空欄に入る言葉を、本文中から7文字で抜き出して入れましょう。

犯行グループが

--	--	--	--	--	--	--

 していたこと。

3 傍線部②の対策としてどんなことが有効だと言っていますか。本文中から35字以内で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

4 傍線部③「侮れ」の漢字の読み方を書きましょう。

れ

NIEワークシートのこたえ（2024年11月5日公開）

◆ワークシート「清明伝説と防犯対策(社会・国語)」
2024.11.3付 朝刊 6面 オピニオン 解答

- 1 百鬼夜行
- 2 現場周辺を下見
- 3 不審者
- 4 あなどれ